

2026年4月1日

「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2026年1～3月期速報）」について ～売上など足元の状況は改善も、製造業・非製造業ともに景況感が悪化に転じる～

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 大森 範久）は、このたび、「茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2026年1～3月期速報）」をとりまとめましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 調査結果

茨城県内企業における全産業ベースの自社業況総合判断DIは、「悪化」超12.4%と、前期（2025年10～12月期）調査の同9.2%から3.2ポイント（以下、pt）低下しました。業種別にみると、製造業は「悪化」超7.7%と、前期（同5.6%）から2.1pt低下、非製造業は「悪化」超15.9%と前期（同11.8%）から4.1pt低下となりました。一方で、個別項目を見ると、製造業は前期と比べ生産や受注、売上高が、非製造業は売上高が改善しています。

先行き（2026年4～6月期）は、全産業で「悪化」超18.9%と、今期から6.5pt低下の見込みとなっています。なお、調査結果の詳細は別紙を参照してください。

2. 調査の特徴

本調査は、1970年以降50年以上にわたり、四半期ごとの定期調査として実施しているものです。従業員数300人以上の大企業から30人未満の企業まで、茨城県内企業を幅広く調査対象としています。今回の調査期間は2026年3月2日～23日、有効回答数は214社（製造92社、非製造業122社）でした。

以上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします
常陽産業研究所 地域研究センター（中橋・荒澤） 029-233-6735

【茨城県内主要企業の経営動向調査結果（2026年1～3月期 速報）】

2026年1～3月期の県内企業の景況感は、全産業で3.2pt低下

—売上など足元の状況は改善も、製造業・非製造業ともに景況感が悪化に転じる—

今回調査の概要

自社業況総合判断DIは、製造業は概ね横ばい、非製造業は4.1ptの低下

茨城県内企業の景況感を表す自社業況総合判断DI^{*}は、全産業ベースで「悪化」超12.4%と、前期（2025年10～12月期）調査の同9.2%から3.2pt低下した（図表1）。DI算出に用いる回答の内訳は、「悪化」と回答する企業が増加し、「好転」と回答した企業は減少した（図表2）。

業種別にみると、製造業は「悪化」超7.7%と、前期（同5.6%）から2.1pt低下し概ね横ばい（図表3-1）。前期好調であった、半導体関連が好調な素材業種と食料品を含む「その他業種」が「悪化」に転じた一方、加工業種は前期から10.6pt上昇した。非製造業は「悪化」超15.9%と前期（同11.8%）から4.1pt低下した（図表3-2）。前回「好転」超となっていた運輸・倉庫業が「悪化」に転じた他、建設業、卸売業、小売業も低下した。

売上（出荷）DIは、製造業で6.6pt上昇、非製造業で25.1pt上昇とともに「好転」に転じる

製造業では、生産DIが「好転」超5.4%と前期（「悪化」超2.2%）から7.6pt上昇、受注DIが「好転」超6.7%と前期（0.0%）から6.7pt上昇、売上（出荷）DIが「好転」超5.5%、前期（「悪化」超1.1%）から6.6pt上昇した。企業からは「受注増により、売上高増加の見通し」（電気機械）、「中国向け部品の受注増加により売上が増加」（金属製品）、「昨年から売上高、生産高を維持できている」（木材・木製品）など、生産や受注の改善に伴い売上も増加したとの声が目立った。

非製造業は、売上（出荷）DIが「好転」超15.2%と、前期（「悪化」超9.9%）から25.1pt上昇した。

企業からは、「大企業との値上交渉が取適法の後押しもあり成約に至るケースが多く、値上げによる売上高が増えた」（運輸・倉庫）など、適切な価格転嫁により売上高が増加したとの声が聞かれた。

製造業・非製造業ともに売上・生産・受注など個別の状況は好調となっている一方で、自社業況は悪化している。足元の状況は改善しているが、将来への不安の急激な高まりが影響し、総合的判断の業況は慎重に判断していると考えられる。

先行きは中東情勢をはじめとする海外経済の動向と物価・賃上げの動向に注目

次期（2026年4～6月期）の自社業況総合判断DIは、全産業で「悪化」超18.9%と今期から6.5pt低下、製造業が同13.3%と5.6pt低下、非製造業が同23.3%と7.4pt低下の見通しとなる（図表1）。

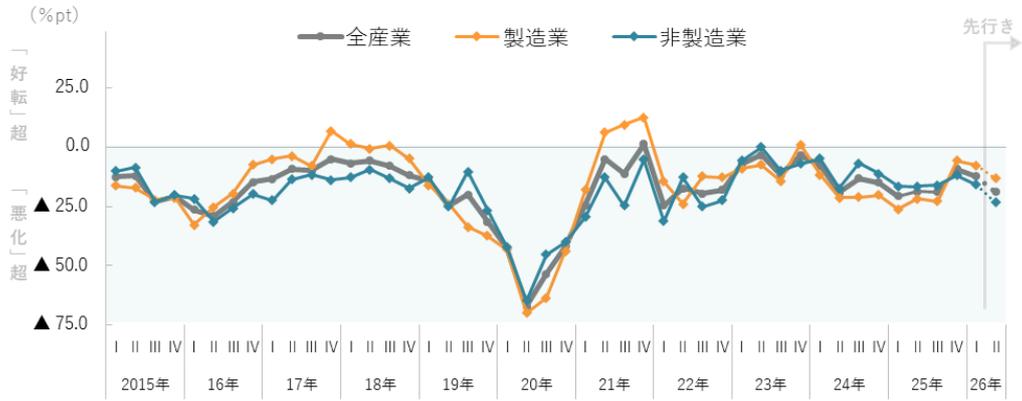
2月末以降の中東情勢の影響から、先行きについて不安を感じる企業が多く見られた。企業は、「原油・ガス価格高騰で世界経済は混乱必至」（電気機械製造）、「LPGの仕入価格上昇が懸念される」（小売業）、「エネルギー価格の先高感が一般消費に影響する」（小売業）など、世界経済の混乱や、コスト高、消費マインド低下を通して県内経済にも影響が波及することを懸念している。

また、企業からは「原材料高や春闘を経た労務費増に対する継続的かつ確実な価格転嫁が最重要課題」（輸送用機械）、「物価高と人手不足による賃金上昇で粗利は微増に留まり社員の給与ベースアップや投資意欲は持てない」（建設業）など、物価高や賃金上昇の影響は根強く企業の収支を圧迫している状況が続いている。

先行きの県内経済は、中東情勢をはじめとする海外経済の動向とともに、物価高や春季賃上げをはじめとする賃上げの動向が企業や家計にもたらす影響に注視する必要があるだろう。

※「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

図表1 自社業況総合判断DIの推移

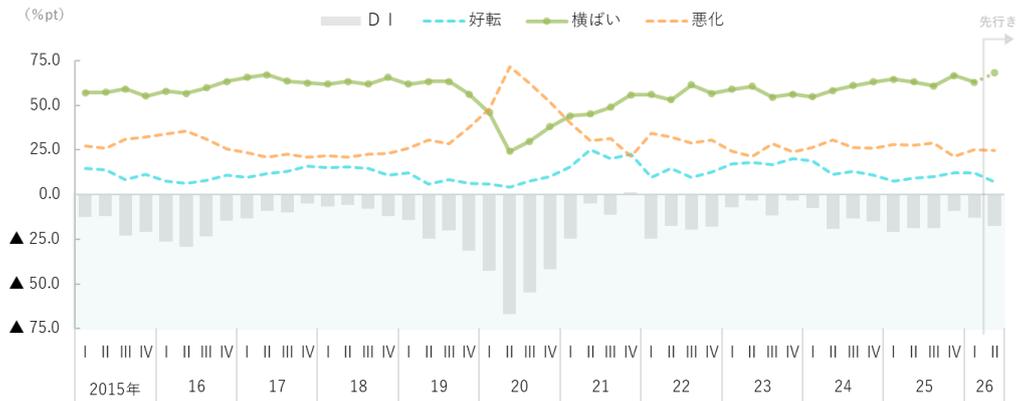


(前年同期比・%pt)

業種	2024年		2025年				2026年	
	10~12月期	1~3月期	4~9月期	7~9月期	10-12月期	1-3月期	前回調査 時点の予測	4~6月期 予測
全産業	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 18.9	▲ 9.2	▲ 12.4	▲ 8.3	▲ 18.9
製造業	▲ 20.3	▲ 26.2	▲ 21.8	▲ 22.8	▲ 5.6	▲ 7.7	▲ 6.8	▲ 13.3
非製造業	▲ 11.2	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 15.9	▲ 9.6	▲ 23.3

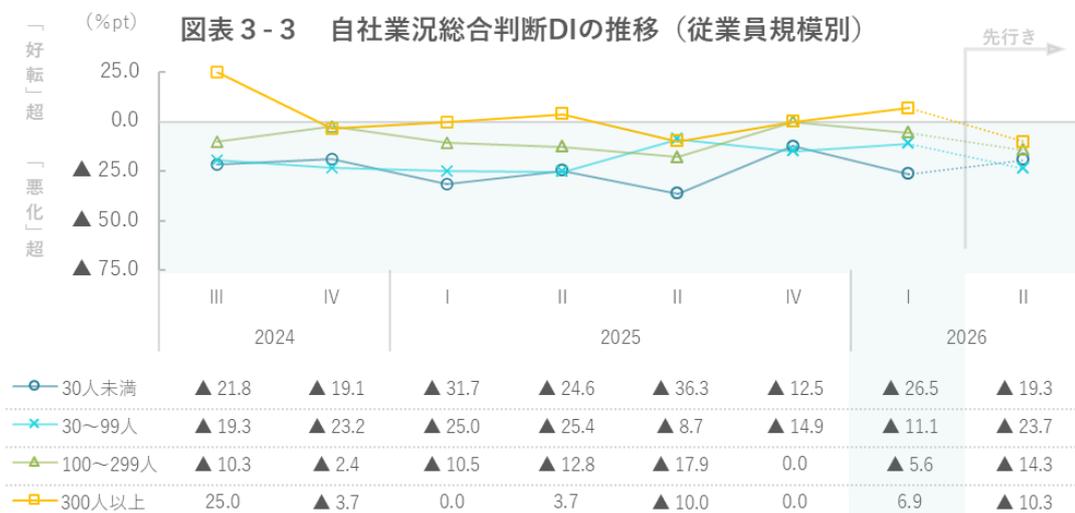
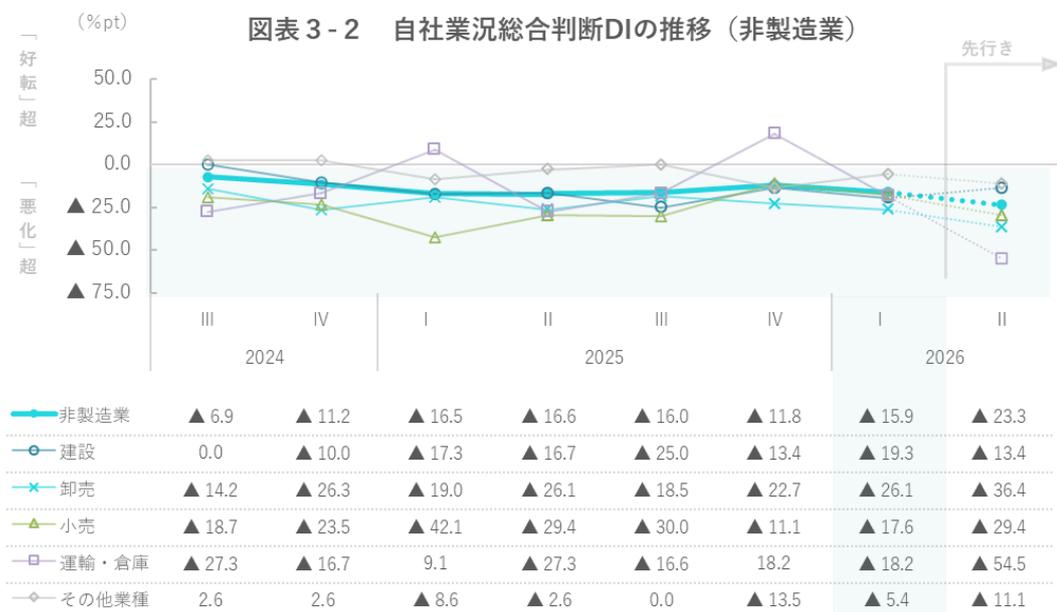
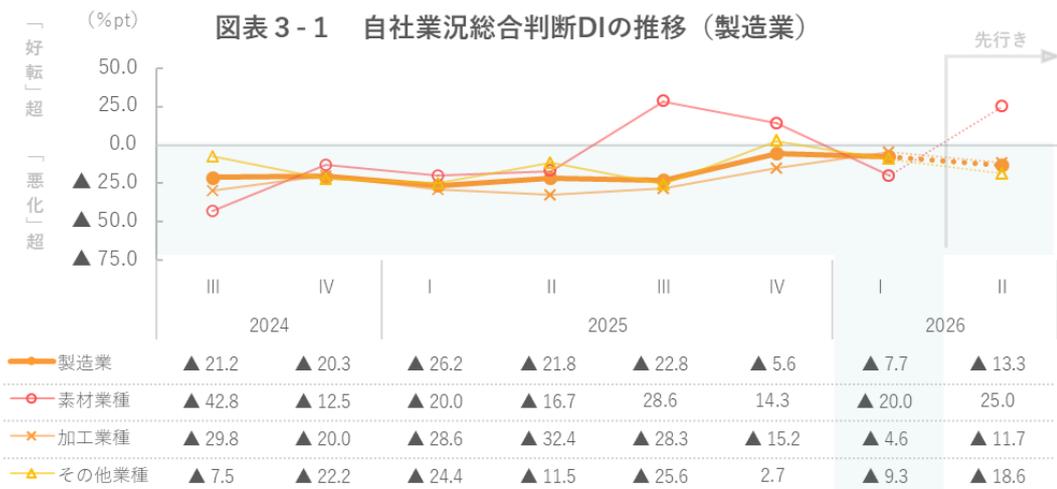
※自社業況総合判断DI：「好転」回答企業割合 - 「悪化」回答企業割合

図表2 自社業況総合判断DIの推移（全産業）



(前年同期比・%pt)

	2024年		2025年				2026	
	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期 予測
好転	12.9	11.0	7.4	9.1	10.1	12.1	11.9	6.8
横ばい	61.0	63.0	64.5	63.1	60.8	66.7	63.8	67.5
悪化	26.2	26.0	28.1	27.8	29.0	21.3	24.3	25.7
DI	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 18.9	▲ 9.2	▲ 12.4	▲ 18.9



図表 4 自社業況総合判断以外の主な DI の推移

(前年同期比、前期比・%pt)

項目	業種	2024年	2025年				2026年	
		10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期 予測
国内景気判断DI (「好転」 - 「悪化」)	全産業	▲ 9.5	▲ 21.5	▲ 26.3	▲ 20.6	▲ 11.1	▲ 14.8	▲ 24.6
	製造業	▲ 11.9	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 22.8	▲ 12.4	▲ 15.4	▲ 24.5
	非製造業	▲ 7.8	▲ 23.9	▲ 24.8	▲ 19.0	▲ 10.1	▲ 14.2	▲ 24.6
生産DI (「増加」 - 「減少」)	製造業	▲ 19.1	▲ 9.1	▲ 10.2	▲ 8.8	▲ 2.2	5.4	1.1
受注DI (「増加」 - 「減少」)	製造業	▲ 16.9	▲ 14.9	▲ 13.0	▲ 7.7	0.0	6.7	2.3
売上(出荷)DI (「増加」 - 「減少」)	全産業	▲ 3.6	▲ 4.5	▲ 7.8	▲ 8.5	▲ 6.0	10.8	▲ 1.5
	製造業	▲ 10.8	▲ 3.4	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 1.1	5.5	2.2
	非製造業	1.8	▲ 5.4	▲ 11.3	▲ 13.3	▲ 9.9	15.2	▲ 4.6
仕入価格DI (「上昇」 - 「低下」)	全産業	55.9	62.8	55.5	56.6	56.2	58.3	64.8
	製造業	55.4	63.2	63.2	63.3	55.2	64.8	67.8
	非製造業	56.2	62.5	50.5	51.6	57.0	53.1	62.5
販売価格DI (「上昇」 - 「低下」)	全産業	29.7	36.1	33.9	36.5	27.8	33.5	39.1
	製造業	24.1	32.2	35.1	38.9	28.4	31.9	37.8
	非製造業	33.9	39.1	33.0	34.7	27.5	34.8	40.2
経常利益DI (「増加」 - 「減少」)	全産業	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 14.1	▲ 11.8	1.9	▲ 11.2
	製造業	▲ 14.5	▲ 19.5	▲ 23.4	▲ 5.7	▲ 14.8	3.3	▲ 6.7
	非製造業	▲ 20.8	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 20.3	▲ 9.4	0.8	▲ 14.6

※DIは前年同期比、ただし仕入価格・販売価格は前期比

以上

茨城県内主要企業の経営動向調査結果(速報)

2026年4月1日
株式会社 常陽産業研究所

項目	業種	2022		2023				2024				2025				2026					概況	
		10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	(前期比)	10~12 時点予想	(予想比)	4~6 予想	(今期比)		
国内景気	国内景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲ 23.0	▲ 9.7	10.7	2.8	1.5	8.7	▲ 9.3	▲ 15.1	▲ 9.5	▲ 21.5	▲ 26.3	▲ 20.6	▲ 11.1	▲ 14.8	(▲3.7)	▲ 6.4	(▲8.4)	▲ 24.6	(▲9.8)	製造業は前期比3ポイント低下し、非製造業は同4ポイント低下した。先行きは、製造業で9ポイント低下、非製造業で10ポイント低下する見通し。
	製造業	▲ 16.9	▲ 13.1	0.0	2.2	4.8	4.7	▲ 5.6	▲ 20.2	▲ 11.9	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 22.8	▲ 12.4	▲ 15.4	(▲3.0)	▲ 5.7	(▲9.7)	▲ 24.5	(▲9.1)		
	非製造業	▲ 27.9	▲ 7.2	19.0	3.2	▲ 0.9	11.5	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 7.8	▲ 23.9	▲ 24.8	▲ 19.0	▲ 10.1	▲ 14.2	(▲4.1)	▲ 6.9	(▲7.3)	▲ 24.6	(▲10.4)		
業界景気	業界景気判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲ 22.7	▲ 10.6	▲ 6.9	▲ 14.0	▲ 5.5	▲ 9.2	▲ 17.3	▲ 20.6	▲ 20.0	▲ 26.5	▲ 30.3	▲ 23.9	▲ 19.5	▲ 18.0	(1.5)	▲ 16.6	(▲1.4)	▲ 21.1	(▲3.1)	製造業は前期から概ね横ばい(-)、非製造業は同4ポイント上昇した。先行きは、製造業で概ね横ばい(-)、非製造業で4ポイント低下する見通し。
	製造業	▲ 22.3	▲ 15.0	▲ 12.7	▲ 21.7	▲ 2.4	▲ 16.3	▲ 21.4	▲ 26.6	▲ 25.0	▲ 30.7	▲ 30.7	▲ 30.5	▲ 13.5	▲ 15.2	(▲1.7)	▲ 14.8	(▲0.4)	▲ 16.5	(▲1.3)		
	非製造業	▲ 22.9	▲ 7.1	▲ 2.4	▲ 8.2	▲ 7.9	▲ 4.1	▲ 14.1	▲ 15.6	▲ 16.3	▲ 23.3	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 24.1	▲ 20.2	(3.9)	▲ 18.1	(▲2.1)	▲ 24.6	(▲4.4)		
自社業況	自社業況総合判断DI (「好転」-「悪化」)	全産業	▲ 18.1	▲ 7.1	▲ 3.3	▲ 11.7	▲ 3.5	▲ 7.6	▲ 19.1	▲ 13.3	▲ 15.0	▲ 20.7	▲ 18.7	▲ 18.9	▲ 9.2	▲ 12.4	(▲3.2)	▲ 8.3	(▲4.1)	▲ 18.9	(▲6.5)	製造業は前期から概ね横ばい(-)、非製造業は同4ポイント低下した。先行きは、製造業で6ポイント低下、非製造業で7ポイント低下する見通し。
	製造業	▲ 12.8	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 14.3	1.2	▲ 11.6	▲ 21.4	▲ 21.2	▲ 20.3	▲ 26.2	▲ 21.8	▲ 22.8	▲ 5.6	▲ 7.7	(▲2.1)	▲ 6.8	(▲0.9)	▲ 13.3	(▲5.6)		
	非製造業	▲ 22.4	▲ 5.7	0.0	▲ 9.8	▲ 7.1	▲ 4.9	▲ 17.4	▲ 6.9	▲ 11.2	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 15.9	(▲4.1)	▲ 9.6	(▲6.3)	▲ 23.3	(▲7.4)		
売上(出荷)	売上(出荷)DI (「増加」-「減少」)	全産業	4.8	0.9	0.4	▲ 9.0	1.1	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 12.8	▲ 3.6	▲ 4.5	▲ 7.8	▲ 8.5	▲ 6.0	10.8	(16.8)	▲ 7.5	(18.3)	▲ 1.5	(▲12.3)	製造業は前期比7ポイント上昇し、非製造業は同25ポイント上昇した。先行きは、製造業で3ポイント低下、非製造業で20ポイント低下する見通し。
	製造業	12.7	▲ 7.3	1.1	▲ 11.0	7.1	▲ 13.0	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 10.8	▲ 3.4	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 1.1	5.5	(6.6)	▲ 2.3	(7.8)	2.2	(▲3.3)		
	非製造業	▲ 1.7	7.7	0.0	▲ 7.6	▲ 3.7	▲ 6.3	▲ 9.5	▲ 5.4	1.8	▲ 5.4	▲ 11.3	▲ 13.3	▲ 9.9	15.2	(25.1)	▲ 11.8	(27.0)	▲ 4.6	(▲19.8)		
生産	生産DI (「増加」-「減少」)	製造業	11.7	▲ 11.2	▲ 12.6	▲ 19.8	2.4	▲ 17.6	▲ 22.4	▲ 24.8	▲ 19.1	▲ 9.1	▲ 10.2	▲ 8.8	▲ 2.2	5.4	(7.6)	▲ 6.7	(12.1)	1.1	(▲4.3)	前期比8ポイント上昇した。先行きは4ポイント低下する見通し。
受注	受注DI (「増加」-「減少」)	製造業	10.7	▲ 10.2	▲ 7.5	▲ 15.2	2.4	▲ 17.6	▲ 20.7	▲ 20.4	▲ 16.9	▲ 14.9	▲ 13.0	▲ 7.7	0.0	6.7	(6.7)	▲ 6.8	(13.5)	2.3	(▲4.4)	前期比7ポイント上昇した。先行きは4ポイント低下する見通し。
操業率	操業率DI (「増加」-「減少」)	製造業	7.4	▲ 6.0	▲ 7.4	▲ 14.4	▲ 6.9	▲ 16.2	▲ 19.1	▲ 24.4	▲ 17.9	▲ 10.4	▲ 3.8	▲ 13.3	0.0	2.2	(2.2)	0.0	(2.2)	1.1	(▲1.1)	前期から概ね横ばい(+)だった。先行きは概ね横ばい(-)となる見通し。
在庫	製品在庫DI (「過剰」-「不足」)	製造業	10.8	11.4	20.5	18.9	16.7	12.1	11.5	6.4	14.6	10.4	14.1	6.6	12.7	8.9	(▲3.8)	4.6	(4.3)	4.6	(▲4.3)	前期比4ポイント低下した。先行きは4ポイント低下する見通し。
販売価格	販売価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	44.3	40.8	40.0	33.1	34.5	32.3	31.1	32.7	29.7	36.1	33.9	36.5	27.8	33.5	(5.7)	29.0	(4.5)	39.1	(5.6)	製造業は前期比4ポイント上昇し、非製造業は同7ポイント上昇した。先行きは、製造業で6ポイント上昇、非製造業で5ポイント上昇する見通し。
	製造業	55.7	44.9	39.8	28.3	35.3	35.7	29.0	34.7	24.1	32.2	35.1	38.9	28.4	31.9	(3.5)	26.7	(5.2)	37.8	(5.9)		
	非製造業	35.1	37.5	40.2	37.0	33.9	29.9	32.8	31.0	33.9	39.1	33.0	34.7	27.5	34.8	(7.3)	30.6	(4.2)	40.2	(5.4)		
仕入価格	仕入価格DI (「上昇」-「低下」)	全産業	71.7	73.6	60.9	56.8	56.4	54.9	59.8	57.0	55.9	62.8	55.5	56.6	56.2	58.3	(2.1)	51.0	(7.3)	64.8	(6.5)	製造業は前期比10ポイント上昇し、非製造業は同4ポイント低下した。先行きは、製造業で3ポイント上昇、非製造業で9ポイント上昇する見通し。
	製造業	79.0	77.3	63.8	46.8	57.6	60.7	60.9	54.8	55.4	63.2	63.2	63.3	55.2	64.8	(9.6)	45.4	(19.4)	67.8	(3.0)		
	非製造業	65.8	70.8	58.5	64.5	55.3	50.9	58.9	58.8	56.2	62.5	50.5	51.6	57.0	53.1	(▲3.9)	55.3	(▲2.2)	62.5	(9.4)		
経常利益	経常利益DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲ 20.7	▲ 19.0	▲ 13.5	▲ 17.0	▲ 7.6	▲ 16.5	▲ 20.8	▲ 15.9	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 14.1	▲ 11.8	1.9	(13.7)	▲ 11.5	(13.4)	▲ 11.2	(▲13.1)	製造業は前期比18ポイント上昇し、非製造業は同10ポイント上昇した。先行きは、製造業で10ポイント低下、非製造業で15ポイント低下する見通し。
	製造業	▲ 16.8	▲ 28.6	▲ 19.3	▲ 19.6	▲ 2.3	▲ 23.6	▲ 24.2	▲ 22.6	▲ 14.5	▲ 19.5	▲ 23.4	▲ 5.7	▲ 14.8	3.3	(18.1)	▲ 18.4	(21.7)	▲ 6.7	(▲10.0)		
	非製造業	▲ 23.7	▲ 11.4	▲ 9.0	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 18.3	▲ 10.5	▲ 20.8	▲ 24.2	▲ 19.9	▲ 20.3	▲ 9.4	0.8	(10.2)	▲ 6.2	(7.0)	▲ 14.6	(▲15.4)		
雇用	雇用判断DI (「増加」-「減少」)	全産業	▲ 4.6	▲ 1.3	2.3	▲ 4.6	▲ 2.0	0.0	▲ 2.5	▲ 11.5	▲ 13.2	▲ 13.8	▲ 3.0	▲ 8.3	▲ 7.3	▲ 4.3	(3.0)	▲ 4.0	(▲0.3)	▲ 2.5	(1.8)	製造業は前期から概ね横ばい(+)、非製造業は同4ポイント上昇した。先行きは、製造業で7ポイント上昇、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	3.2	▲ 4.1	1.1	1.1	▲ 7.0	2.4	0.0	▲ 13.8	▲ 15.5	▲ 14.7	▲ 2.5	▲ 7.6	▲ 7.8	▲ 5.5	(2.3)	▲ 3.4	(▲2.1)	1.1	(6.6)		
	非製造業	▲ 10.8	0.8	3.4	▲ 9.1	1.8	▲ 1.7	▲ 4.5	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 13.1	▲ 3.4	▲ 8.8	▲ 6.9	▲ 3.4	(3.5)	▲ 4.4	(1.0)	▲ 5.3	(▲1.9)		
資金繰り	資金繰り判断DI (「楽になった」-「苦しくなった」)	全産業	▲ 6.9	▲ 7.7	▲ 4.2	▲ 8.5	▲ 4.1	▲ 5.3	▲ 10.4	▲ 10.9	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 7.7	▲ 7.4	▲ 9.3	▲ 2.8	(6.5)	▲ 6.9	(4.1)	▲ 4.9	(▲2.1)	製造業は前期比16ポイント上昇し、非製造業は横ばい(-)だった。先行きは、製造業で概ね横ばい(-)、非製造業で概ね横ばい(-)となる見通し。
	製造業	▲ 12.6	▲ 11.3	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 3.5	▲ 5.9	▲ 11.5	▲ 11.9	▲ 6.0	▲ 8.1	▲ 9.1	▲ 7.8	▲ 14.8	1.1	(15.9)	▲ 6.9	(8.0)	▲ 1.2	(▲2.3)		
	非製造業	▲ 2.5	▲ 4.8	▲ 2.5	▲ 9.9	▲ 4.5	▲ 4.9	▲ 9.6	▲ 10.3	▲ 8.7	▲ 6.9	▲ 6.6	▲ 7.3	▲ 5.1	▲ 5.9	(▲0.8)	▲ 6.9	(1.0)	▲ 7.9	(▲2.0)		
設備投資	設備投資実施割合	全産業・実績 (6か月前計画)	57.1 (55.2)		58.1 (60.6)		60.5 (59.9)		57.3 (55.2)		57.6 (52.6)		60.7 (56.6)		60.3 (58.0)		(▲0.4)		(2.3)	58.9	(▲1.4)	当初計画(6か月前計画)と比べると、製造業は概ね横ばい(-)、非製造業は6ポイント上昇した。前期実績(6か月前実績)と比べると、製造業は5ポイント低下し、非製造業は3ポイント上昇した。先行きは、製造業で概ね横ばい(+)、非製造業で3ポイント低下する見通し。
	製造業・実績 (6か月前計画)	61.0 (58.4)		57.0 (61.0)		61.6 (58.1)		56.4 (58.1)		59.1 (52.1)		65.2 (59.1)		59.8 (62.0)		(▲5.4)		(▲2.2)	60.9	(1.1)		
	非製造業・実績 (6か月前計画)	54.0 (52.5)		58.9 (60.3)		59.7 (61.3)		58.1 (53.2)		56.4 (53.0)		57.5 (54.7)		60.7 (55.1)		(3.2)		(5.6)	57.4	(▲3.3)		

<調査期日> 2026年3月時点(回答受付:3月2日~23日)

<調査対象> 474社

<有効回答> 214社(製造業92社、非製造業122社)

※DIは前年同期比、ただし販売価格・仕入価格・資金繰りは前期比

※設備投資の実績は2025年10月~2026年3月期、先行きは2026年4~9月期

※表中のDI値・実績値の赤字は前期比マイナスを示す

※概況では、今期の前期比・次期の今期比等について、ポイント差が1.0未満のものを「横ばい」、1.0以上3.0未満のものを「概ね横ばい」と記載している

(参考として、ポイント差がプラスの場合は(+)、マイナスの場合は(-)、0.0の場合は(=)を、「横ばい」・「概ね横ばい」の右側に記載)